

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年9月30日（金）

2 確認場所

増設雑固体廃棄物焼却設備

3 確認項目

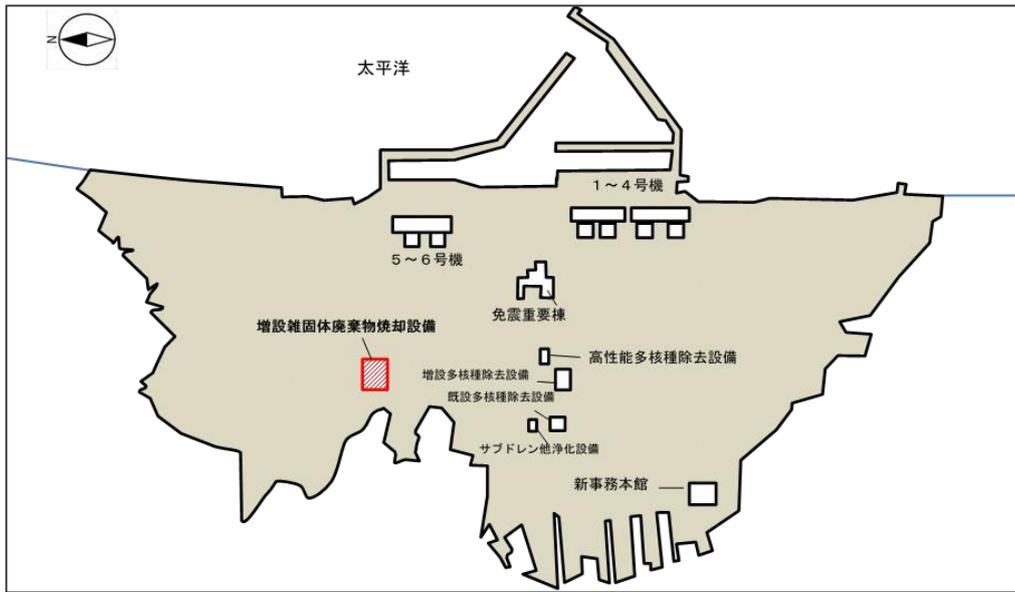
増設雑固体廃棄物焼却設備の二次燃焼器とストーカ取合の塞ぎプレート他に発生した亀裂の補修状況

4 確認結果の概要

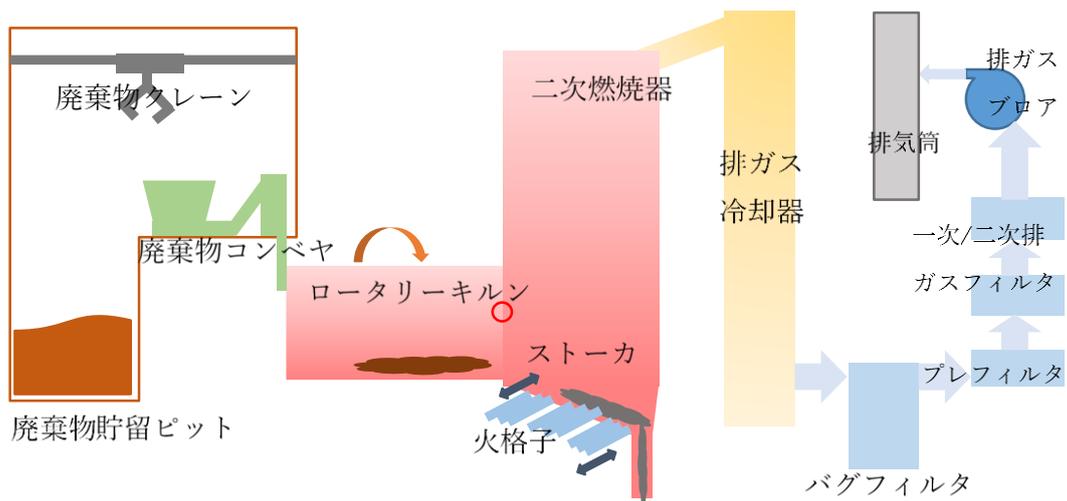
増設雑固体廃棄物焼却設備では、6月18日の運転員によるパトロールにて二次燃焼器とストーカ取合の塞ぎプレート他に亀裂が見つかった。亀裂の破面観察の結果、本年3月16日に発生した地震の影響と推定され、溶接部の亀裂については、溶接部の強度不足も確認された。

上記不具合の発生を踏まえ、設備の水平展開調査を実施し、発見された不具合も含めて本年9月中を目処に復旧工事が実施されていることから、現場の状況を確認した。（前回確認：令和4年6月27日）（図1、図2）

- ・前回確認時、増設雑固体廃棄物焼却設備のロータリーキルン取合部シール溶接部、二次燃焼器とストーカ取合の塞ぎプレートに亀裂が生じていることを確認したが、ロータリーキルン取合部シール溶接部には新たに塞ぎ板が追加され補修されていた。また、二次燃焼器とストーカ取合の塞ぎプレートについては、アングル材が追加され、補修が完了していた。（写真1）
- ・東京電力によると、増設雑固体廃棄物焼却設備内は排風機により負圧を維持していることから、亀裂部からの放射性物質の漏えいはなく、また、亀裂発生箇所はいずれも構造材本体ではないことから、構造強度に影響はないとのことであった。また、廃棄物保管量低減のため、安全最優先に早期運転再開を目指すとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 増設雑固体廃棄物焼却設備の模式図 (東京電力資料より作成)



(写真 1 - 1)
増設雑固体廃棄物焼却設備亀裂発生
箇所の状況
(前回：令和 4 年 6 月 27 日撮影)



(写真 1 - 2)
増設雑固体廃棄物焼却設備亀裂発生
箇所の補修後の状況
(今回：令和 4 年 9 月 29 日撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。